

邪馬台国論  
—論点—

孫子曰 兵者國之大事 死生之地 存亡之道 不可不察也  
(孫子 始計篇)

2021.3.27

# 1. 国際情勢との関係－「倭国」をめぐる戦略環境

- 時代背景－三国時代(大規模戦闘・殺戮の常態化)
- 「倭国・倭人」周辺(半島)での軍事行動の常態化
- 「倭国」(北九州)の戦略的価値(海上交通路確保・遮断、牽制等)
- 司馬懿と魏・曹一族等との熾烈な権力闘争



## 論点1:「倭国・邪馬台国」の所在地



- ☆魏の思惑(対呉戦略)、「倭国」への対応策－友好親善？勢力圏組み込み？
- ☆「倭国」が弱小 or 遠隔地(戦略的価値なし)の場合？

※「倭国・邪馬台国」大和説は、軍事戦略上、成り立つか？

## 2. 『倭人伝』編纂の背景

### 論点2-1: 『魏志・倭人伝』と陳寿・司馬懿の関係

- 陳寿が仕官していた蜀は、魏により、滅亡
- 魏(曹操一族)は、晋(司馬懿一族)に禅譲(篡奪)
- 司馬懿は、晋の事実上の創始者、熾烈な権力闘争
- 「倭国・邪馬台国」の朝献は、司馬懿の功績・晋の正当性の象徴
- 『魏志(三国志)』は、司馬氏の晋の下で、蜀の陳寿により編纂された、魏の正史



- ☆陳寿の至上命題(忖度)は、司馬懿の功績・晋の正当性の強調？
- ☆『倭人伝』の記述に直結？

### 論点2-2: 「倭国」への里程・行程

- 距離、水行・陸行等の不整合について諸説
  - ・大月氏国とのバランス(大月氏 ⇔ 邪馬台国)
  - ・対呉戦略「計其道里 當在會稽東冶(冶)之東」
  - ・短里



- ☆司馬懿の功績強調のため、行程・里程を誇張は必然？



### 3. 『倭人伝』

#### 論点3-1: 原文解釈の壁

- 原文(漢語)≠漢文(日本語)一本場(ネイティブ)の専門家との齟齬
- 正史のあり方、華夷思想等についての基本認識



#### ☆「倭国・邪馬台国」への行程等？

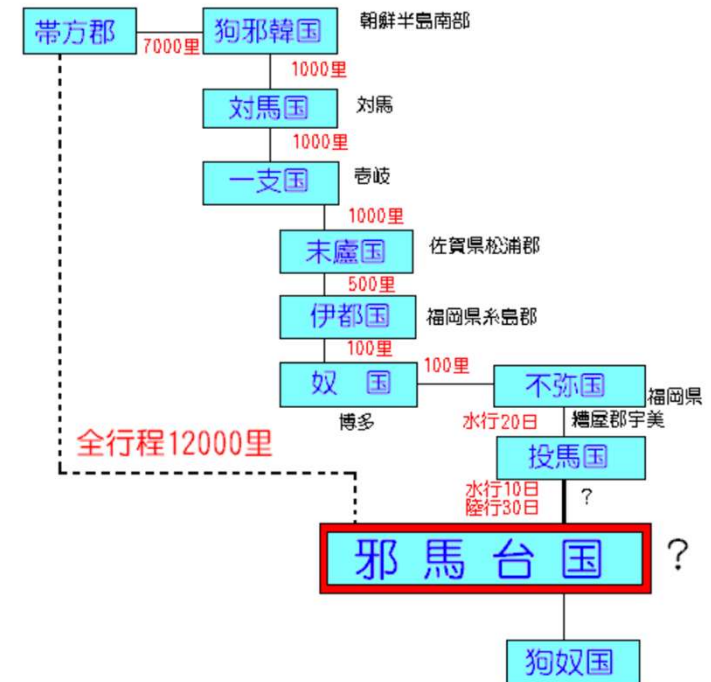
- ・長里・短ri理
- ・水行・陸行
- ・放射説
- ・「自郡至女王國萬二千餘里」  
「計其道里 當在會稽東治(冶)之東」

#### ☆「卑弥呼」の死？

- ・「卑彌呼以死」

#### ☆「倭国乱」の地理的範囲？

- ・「女王國東渡海千餘里復有國皆倭種」



(第1回「倭国」使節関係)

**論点3-2: 景初二年・景初三年問題**

- 魏、司馬懿、「倭国」の状況
- 景初二年説
  - ・魏(司馬懿)の公孫氏包囲・討滅、東夷諸族帰服指嗾と朝献
  - ・魏/明帝病臥・翌月(年)急逝
- 景初三年説
  - ・呉の遼東侵攻
  - ・服喪、権力抗争激化・司馬懿の権力低下



- ☆魏と司馬懿の立場？-「倭国」朝献の価値(使節、貢物)？
- ☆「倭国」側の立場？-適時適切な対応(本来は帯方郡)？危機感？

(魏・梯儁派遣(240年)使節関係)

### 論点3-3: 上陸地等

☆目的・任務－友好親善？ or 軍事使節(威力偵察)？

⇒準備、規模(人員、装備、艦船、糧食)、武装等？

☆上陸適地は限定

\* 元寇: 博多湾に再度上陸



### 論点3-3: 邪馬台国に行かず？「女王卑弥呼」に對面せず？

☆「倭国」の立場・対応？－歓迎一色 or 外交儀礼+ 警戒・危機感？

\* 道三・信長、正徳寺での對面



(魏・張政派遣(248年)関係)

### 論点3-4:張政の派遣?

- ☆「倭国」と魏の関係－国政報告?援軍要請?
- ☆張政の任務－激励 or 軍事顧問(団)・援軍(相当規模の武装部隊)?
- ☆「倭人」=「東夷」の内紛(「倭国」対狗奴国)に介入(前例なし)?
- ☆張政の滞在期間?

### 論点3-5:「卑弥呼」の死

- ☆自然死 or 自死等
- ☆張政の滞在(駐留)期間中に「倭国」内乱?

### 論点3-5:その後の「倭国」の動向

- ☆「倭国・邪馬台国」、「壺与」の動向
- ☆狗奴国の動向

※大和王権、神武東征等との関係